

「海賊対処活動に対する感謝の集い」の開催

日本船主協会は、2017年11月29日（水）、海運ビルにおいて、防衛省、国土交通省、海上保安庁その他関係省庁および国会議員など、ソマリア沖・アデン湾での海賊対処活動にご尽力いただいている関係者を招き、「海賊対処活動に対する感謝の集い」を開催しました。

武藤光一当協会会長は、挨拶の中で海賊対処活動に対する謝意を述べた上で、10月にジブチを訪問した際の体験談を交えながら「海賊対処活動が始まって8年余りとなり、その間約800回の護衛活動により、日本商船隊を含む約4,000隻の商船を護衛いただいた。わが国および各国の海賊対処活動により、海賊被害の報告は減少したが、根本的な解決はしておらず潜在リスクは高いまま。引き続き国際社会が連携して海賊対処活動を継続することを期待する」と述べました。

一方、来賓としてご参加いただいた小野寺五典防衛大臣からは、11月初めの閣議で海賊対処活動が延長されることが決まったことが報告されるとともに、「日本の国際貢献の1つとして、これからはしっかりと海上保安官のみなさまとともにシーレーンを守っていく」との言葉をいただきました。

当日は、小野寺五典防衛大臣の他、あきもと司国土交通副大臣、福田達夫防衛大臣政務官、山下貴司法務大臣政務官、堀井巖外務大臣政務官、築和生国土交通大臣政務官、衛藤征士郎海事振興連盟会長をはじめとする総勢約340名の方々の参加をいただき、海賊対処活動への謝意が海運界から防衛省等の関係者に伝えられました。

また、2017年ミス日本「海の日」三上優さんも参加し、実際にアデン湾で海賊対処活動に従事された南厚防衛省海上幕僚監部情報課長および12月3日に現地へ向け出発された遠田吉広海上保安庁第29次ソマリア周辺海域派遣捜査隊長へのインタビューを行うなど、盛会裡に閉幕しました。



▲武藤光一日本船主協会会長



▲小野寺五典防衛大臣



▲あきもと司国交副大臣



▲山下貴司法務大臣政務官



▲堀井巖外務大臣政務官



▲イスマエル・ユスフ・ヘルシ ジブチ共和国臨時代理大使



▲衛藤征士郎海事振興連盟会長



▲ミス日本「海の日」によるインタビュー  
左：遠田吉広第29次派遣捜査隊長（海上保安庁）  
中：南厚情報課長（防衛省海上幕僚監部）



▲会場の様子